

臨床情報及び検体等の研究利用に関する情報公開文章

研究課題名 『全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 の院内導入に向けた検討』

研究機関名 JCHO さいたま北部医療センター

【研究の目的・意義】

全自動尿中有形成分分析装置の機器更新に伴い、新たに Sysmex 社 UF-5000 を導入する事となりました。

そこで、UF-5000 の基礎的性能の確認と現行機である Sysmex 社 UF-1000 i との相関性ならび顕微鏡目視による相関性の検討を行い、UF-5000 の有用性について調査したいと考えております。

【医学的貢献】

尿沈渣検査は、第一に腎・尿路系に病変があるかどうかのスクリーニング、第二にすでに確認された腎・尿路系の病変に対する治療効果や薬剤の副作用の判定において重要な検査です。

【調査及び、検査項目】

尿沈渣項目の赤血球、白血球、扁平上皮、細菌

【対象及び対象となると予想される症例数】

令和 7 年 11 月から 12 月中に尿沈渣項目の赤血球、白血球、扁平上皮、細菌を測定された患者さんの残検体を使用し、症例数は 300 件を予定しています。

【実施期間】

令和 7 年 11 月 20 日～令和 7 年 12 月 20 日

【個人情報について】

この研究はさいたま JCHO 北部医療センター倫理委員会の承認を得て実施するものです。

研究に利用する患者様の個人情報はすべて削除し、厳重に管理致します。

今回の研究での結果及び成果を医学学会等にて報告する可能性があります。
本研究に対しご意見、ご質問のある方、診療情報や採取検体等の提供を承諾されない方はお手数ですが、下記までご連絡お願い致します。

【研究に関する問い合わせ先】

〒331-8625

埼玉県さいたま市北区宮原町 1-851 TEL：048-663-1671(内線 162)

調査責任者 J C H O さいたま北部医療センター 検査科臨床検査技師 星聖子